

2025年活動スローガン 「バングラデシュ支援40年 あなたも私も輝いて!!」

報 告 2024年10月～12月支援分

イベント情報

〈バングラデシュ〉

●トイレ寄付

- ・甲南女子「世界子ども基金クローバー会」様よりカパシア郡の2つの学校にトイレ一式を各1基
- ・有志の方よりラクシュミプール県の学校にトイレ一式を1基

●その他の寄付

- ・大阪 I ゾンタクラブ様よりYURIKOエンゼルスクールの講堂にマイクセット
- ・手作りボランティアサークル「ドンノバ」様よりエンゼルホームの子ども達に衣服一式
- ・会員有志の方よりエンゼルホームの講堂にマイクセット

〈国内活動〉

- 12月に大阪のJR天王寺駅前で街頭募金を行いました。多くの方々にご協力いただきありがとうございました。

4/9
(水)

春のチャリティバザー

場所：本協会ボランティアセンター（伊丹市）
時間：10:00～14:00

バングラデシュ・スタディツアー

昨年12月にバングラデシュ・スタディツアーを開催しました。参加者の皆さんは、エンゼルホームの子ども達との交流、YURIKOエンゼルスクール20周年記念フェスティバル、識字教室の卒業式、子ども達との遠足など、盛りだくさんのスケジュールを満喫して楽しいツアーとなりました。



お知らせ

- 2023年11月10日に兵庫県より認定NPO法人として認定を受けました。認定を受けたことにより、当協会への寄付は税制優遇（寄付金控除）の対象となります。昨年度仮の受領書を発行しておりました皆様へ、1月中旬より寄附金受領証明書をお送りします。もし確定申告の都合上お急ぎの方がおられましたら国際エンゼル協会事務局までお問い合わせください。
- 会員総会 3月11日（火）13:30～
会員の方には後日案内をお送りしますのでご出席してくださいますようお願いいたします。

編集後記

昨秋「エンゼルバスツアー」で比叡山延暦寺に参拝した時のことです。根本中堂の僧侶より「この法灯は1200年以上油を足し続けており、一度も消えることなく輝き続けています。油を断つと当然火が消えてしまいますが、この事が“油断”の語源となっているのです」と伺いました。「油足しは当番ですのですか」と尋ねたところ、「当番制ではなく僧侶全員が常に心をかけ、気がついた人が油を足すようにして1,200年灯し続けています」と教わりました。なんとも意味深い壮大な話でとても心に響きました。

2025年 行事予定

1月現在

2月	8日(土)	チャリティバザー	フレンテ西宮	西宮市
3月	1・2日(土・日)	ノクシカタ販売	さいたま市市民活動サポートセンター	さいたま市
4月	9日(水)	春のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市
6月	8日(日)	楽しいボランティアひろば	本協会ボランティアセンター	伊丹市
8月	4日(月)～11日(月)	バングラデシュツアー	バングラデシュ	
10月	22日(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市
11月	28日(金)～12月8日(月)	バングラデシュツアー	バングラデシュ	
12月	6日(土)	バングラデシュ支援40周年記念式典	バングラデシュ	

※行事予定はホームページ上にも掲載、随時更新しています。

会員募集

本協会の活動は皆さまの会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員 年額1口 6,000円
特別会員 年額1口30,000円

●DCEF会員(教育里親)

1ヵ月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。
郵便自動払込方法も受付けています。

郵便振替・口座番号
01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよろしくお願いします。

会員数：一般会員 579名
DCEF会員 518名
(1月1日現在)

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者



認定特定非営利活動法人

国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504 FAX.072(784)4608
Home Page ● <http://www.angel-ngo.gr.jp>
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp



ホームページ

ANGEL NEW

通巻210号
2025.01

謹賀新年



エンゼルホームの子ども達

明けましておめでとうございます。

国際エンゼル協会は皆様の温かいご支援に支えられて今年で43周年を迎えます。また、バングラデシュで活動を始めて40周年になります。創設者の川村百合子はバングラデシュに行く度に、「私達はこのプロジェクトを大きくするのが目的でなく、皆さんが幸せになって欲しいのです。皆さんの幸せを願って日本の多くの皆さんが支えてくださっていることを忘れないで頑張ってください」と話していました。そして今、エンゼルホームで育った子ども達や奨学金をもらっていた学生達から「学校にも行けて、就職もできて、今は家族を支えることができます」「国際エンゼル協会から奨学金をもらったことで大学を卒業することができ、今は社会で活躍しています。日本のお母さん方に感謝しています」と幸せの報告をいただいています。

今まで支援してきた子ども達、学生達は数えきれません。40年はあっという間に過ぎ去っていましたが、この間に蒔かれた種はしっかりと花開いています。これもひとえに今日まで当協会を支えて下さった会員、皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

これからもバングラデシュの子ども達が明るく過ごせるよう優しい心を広げていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 東村 眞理子



新年のごあいさつ

国際エンゼル協会事務局より

国際エンゼル協会 事務局長
東村 良平



新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年は当協会のバングラデシュ支援40周年の年になります。これも全てボランティアを続けてくださっている皆様のお力があってこそと、心より感謝申し上げます。

一年の計は元旦にあり、このバングラデシュ支援40年目を迎えるにあたり「なぜ皆さんがボランティアを続けてこられたのか」を今一度考えてみました。

もちろんボランティア活動に参加されたきっかけは人それぞれで、様々な理由が考えられました。しかしその根底にあるのは、やはり「これまで社会の人達にお世話になった恩を社会に返したい」という思いではないでしょうか。国際エンゼル協会の創立時から皆が大事にしてきたこの思い、いつも日常の些細なことがらにも周りの方への感謝の気持ちを忘れず、その感謝の思いをボランティア活動という形にして次の方へ繋いでいく、ただひたすら地道なその繰り返しが気付けば40年経っていたのでしょう。

私も国際エンゼル協会でも働いて今年で10年目を迎えます。まだまだ未熟者ではありますが、祖母の言っていた「社会の人達への感謝と恩返し」の意味を日々忘れず、これからも皆様と共に歩んでまいりたいと思います。今年もどうぞ、国際エンゼル協会をよろしくお願いいたします。



バングラデシュより

バングラデシュ現地責任者
アジズル・バリ



皆様、あけましておめでとうございます。今年でバングラデシュにおける国際エンゼル協会の支援活動は40年目を迎えます。40年前はバングラデシュの孤児たちを支援するための児童養護施設から始まりましたが、今では児童養護施設だけにとどまらず、さまざまな支援活動が続けられています。バングラデシュの子ども達の教育環境を整えるための学校の建設、トイレが無かったり不衛生なトイレしかない学校への衛生プログラムとしてのトイレ作り、子どもの頃に家庭が貧しくて学校に通うことができず初等教育が満足に受けられなかった農村女性への識字教室、そしてバングラデシュの将来を担う社会貢献意識をもった優秀な人材育成のための学校(YURIKOエンゼルスクール) などです。

今日、皆様の支援を受けた多くの子ども達が自身の夢を叶え、社会を支えています。農村を訪ねると、読み書きができるようになった女性達の笑顔が溢れています。これら全ての幸せは、国際エンゼル協会の皆様の心優しい支援によって訪れました。私達バングラデシュのスタッフ一同、子ども達、女性達、みな日本の皆様への感謝の気持ちを忘れません。皆様の健康と御多幸をお祈りしております。そしてこれからも末永く、皆様と共に幸せを感じることができる事を願っております。最後になりましたが、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



チャリティバザーが行われるまで



毎年春と秋にボランティアセンターでチャリティバザーが行われます。バザー開催にあたってバザーの2か月前からボランティアの方々がどのように準備しているかをご紹介します。

2か月前

- ・バザー実行委員会を開く(収集の日程等を定める)
- ・バザーのチラシやポスターを作成
- ・バザー当日のボランティア募集
- ・第一回各売場チーフ&バザー実行委員ミーティング(各売場の配置、当日までの日程などを決める)



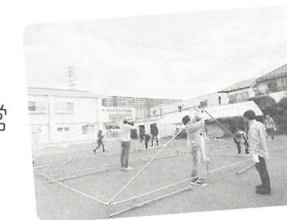
1か月～3日前

- ・バザーの品物提供のお願いに周辺にチラシをポスティング(6～8回)
- ・第一回バザー当日のボランティア全員集合(顔合わせ)
- ・第二回各売場チーフ&バザー実行委員ミーティング(売場で使用する備品確認・各売場の進行状況確認)
- ・第二回バザー当日のボランティア全員集合(当日の注意事項などを説明)
- ・ボランティアの名札作りや備品の用意



3日前～前日

- ・テント張り・商品搬出・設営
- ・準備



バザー開催



頂いた品物は…

各売場に分けた後、品物を点検します。



それぞれの品物をきれいに拭いたり、磨いたりした後、みんなで相談しながら値段をつけます。



当協会のチャリティバザーは、準備から当日そして片付けまで本当に多くの皆様のご協力で成り立っております。昨年の秋のバザーには250人以上のお手伝いの方がかけつけてくれました。また、近隣から全国各地まで品物を提供して下さった方は数えきれません。このように善意で寄付していただいた品物はバングラデシュの子ども達の教育支援のため大切にに使わせていただいております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。